

平成28年度 国立大学法人徳島大学契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成29年3月7日(火) 徳島大学事務局第2会議室	
委員(敬称略)	委員長 長地 孝夫 (公認会計士) 委員 牧野 孝彦 (徳島大学監事) 委員 立木 さとみ (徳島大学監事) 委員 田中 浩三 (弁護士) 委員 笹賀 一秀 (四国大学経理課長)	
審議対象期間	平成28年4月1日～平成28年12月31日	
審議案件	11件	(備考)
一般競争契約(政府調達契約)	2件	・意見、質問に対する回答部署 常三島事務部会計課 蔵本事務部会計課 病院事務部経理調達課
一般競争契約(政府調達契約を除く)	5件	
指名競争契約	0件	
随意契約	4件	
委員からの意見・質問及びそれらに対する回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特に問題はなかった。	

別紙

意見・質問	回答
<p>議題1. 委員長の互選について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の互選により長地委員を委員長に選出した。 <p>議題2. 競争性のない随意契約における随意契約理由の妥当性について</p> <p>(1)教務事務システムのサーバー移設作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が100%となっている根拠は何が考えられますか。 ・契約締結前に予定価格の額を業者は分かるような仕組みですか。 ・偶然予定価格と契約締結額が一致したのですか。 ・予定価格はオープンにしないのですか。 ・参考見積書の提出業者は契約締結業者と違う会社ですか。 ・契約締結業者が参考見積書を提出していますが、同額で提出された本見積書どおりの金額で契約を締結したのですか。 ・役務契約だからそういうことになるのですか。 ・参考までに本案件での大学積算額はいくらですか。落札率は何%ですか。 ・予定価格の設定方法は毎回説明された方法で行うのですか。 <p>(2)ロボットアーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様策定委員会を開催し機種を選定していますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格を算出するにあたり、市場価格を調査し、調査した中から最も安価な価格を予定価格としています。 本案件については、契約締結にあたり徴取した見積書が結果的に本学予定価格と一致したため、落札率が100%となっています。 ・業者は全く分からない仕組みです。 ・結果として一致しました。 ・公開はしていません。 ・提出業者は契約締結業者です。 ・結果的にはそうになっています。ただし、価格の正当性は確かめています。 ・役務契約だからということではありません。物品購入の場合も同様の算出方法です。 ・(契約担当部署より大学積算額及び落札率を説明。) ・行います。 ・限定品であるためこの機種しかありません。

・市場調査を行ううえで、役務契約と物品購入の違いは他大学に納入実績を照会している点ですか。

・他大学の納入実績がキーになりますか。

・落札率が100%になった理由は、先に説明のあった内容と同じですか。

・直接販売とのことですが、他大学に納入実績を照会したときも直接販売ということを確認したのですか。

・地元業者にも取扱いの確認を行っていますか。

・ロボットアームを購入する理由は何ですか。

・教員からこれが必要と説明があれば希望する機種をそのまま購入するのですか。

・予算の範囲内であれば教員の希望通り購入するのですか。

(3) 外来診療支援システム保守等業務

・落札率が100%に近い理由は何ですか。

・本案件も競争が働かないのですか。

・そのとおりですが、役務契約においても他大学に納入実績を照会することもあります。

・そのとおりです。場合によっては、業者からの参考見積書を徴取します。

・そのとおりです。本案件は特殊で、製造業者による直接販売のみの取り扱いで、定価販売となっています。他大学の納入実績も調べましたが実績はありませんでした。

・他大学に納入実績を照会しましたが、国立大学法人に実績はありませんでした。製造業者に問合せたところ、定価による直接販売のみであるという証明書の提出を受けました。

・地元業者に確認しましたが、本案件に関して取扱いはできないとの回答でした。

・教員から科研費で申請した研究に使用するためとの要望がありました。

・機能に汎用性があり、どこのメーカーでも良いのであれば仕様策定又は機種選定を行います。本案件については、必要な機能・性能を有している製品がこのメーカーのものしかないということでした。

・科研費での購入であり、申請に基づいた研究を遂行するために物品を購入する必要がありますので、差し離れた物品は購入できません。

・予定価格の積算段階で、他大学へ納入実績の照会や業者からの参考見積書を徴取して、最も安価な価格を予定価格としました。落札率が100%に近い理由は、契約締結時に徴取した見積書が結果的に本学予定価格に近かったためです。

・本案件は平成27年10月に大学病院の外来診療棟完成時に導入した病院情報システムの補償期間(1年間)終了に伴う保守・メンテナンス契約です。病院情報システムの複雑な繋がりや技術的な点からも本システムを開発・納入した契約締結業者でないと保守・メンテナンスができないという理由から随意契約を行いました。

・来年以降も本案件は発生しますか。毎年同額が必要ということですか。

・そのとおりです。病院情報システムが存続する限りは保守・メンテナンスが必要になります。

議題3. 一般競争入札で1者応札だったものの妥当性について

(1)腹腔鏡下手術トレーニングシミュレータ

・本案件の契約締結業者は、以前徳島大学で不正行為はなかったですか。

・4～5年前、県立中央病院で不適切な経理があり、当時本学でも2ヶ月間の取引停止措置を行いました。

・1者応札・応募の改善方策について、徳島県内にも医療機器メーカーは多数ありますが、そこが応札できない理由は何ですか。

・取扱業者は他にも多数ありますが、結果として応札業者は契約締結業者の1社だけでした。

(2)徳島大学病院ベッドメーカー業務請負

・応募業者数と応札業者数については、入札書類を取りに来た業者数と実際に入札した業者数ということですか。

・本案件は役務契約であるため入札説明会を開催していますが、応募業者数は説明会に参加した業者数のことを指しており、2社の参加がありました。なお、入札説明会に参加したにも関わらず、応札しなかった業者に対しては、応札ができなかった理由書を任意で徴取しています。

・1者応札・応募の改善方策として「引き続き出入業者等に参加を要請する」と記載していますが、具体的にはどのような働きかけを行っていますか。

・業者に対して直接「こういった入札があるので参加ください」という働きかけは行わず、例えば、毎日出入りする業者には「入札公告を見てください」と伝えています。なお、入札公告は文部科学省HP等により公表し周知しています。

(3)高度低侵襲医療システム

・委員からの意見・質問等はなし。

(4)徳島大学附属図書館本館入館管理システム

・落札率が低くなっていますが、仕様を策定したときの予定価格の積算は議題2で説明があった内容と同様ですか。

・同様です。複数の方法による市場価格調査のうち、最も安価な価格を予定価格としています。

・実際の応札では、大学の積算額と業者が提出した参考見積書よりもかなり安い金額を提示してきたということですが、どのような原因が考えられますか。

・複数の業者が仕様書等の関係書類を取りに来ましたが、結果としては1社の応札となりました。ただし、何社が応札してきているか等は公にしないため、今回の応札業者も、複数社が応札すると予想していたと考えられます。

・実際にこれだけ安いと仕様内容が確実に実施されるか懸念しますが、確実に実施されるかのチェックは行っていますか。

・最低制限価格というのがありますか。

・落札率が低くなっているで、品質面で本当に大丈夫なのか、予定価格の算定自体が高すぎたのではないかとの疑問があります。仕様書と異なる内容であれば理解できるのですが、仕様書に従ったものですか。

議題4. 落札率が高い案件の妥当性について

(1)教務事務システムのサーバー移設作業

(議題2と同案件)

・上記議題2での意見・質問・回答のとおり。

(2)腹腔鏡下手術トレーニングシミュレータ

(議題3と同案件)

・委員からの意見・質問等はなし。

(3)徳島大学病院ベッドメーカー業務請負

(議題3と同案件)

・予定価格は大学側で積算した価格ですか。落札した金額と予定価格に近いのはなぜですか。

・算定情報が外部に少しでも漏れると公正さを欠き大変なことになりますが、漏洩しないために行っていることはありますか。

・本学としても業者には仕様内容を確実に実施するよう強く要請しています。

・工事や役務契約には採用していますが、物品に関しては採用していません。

・仕様書に従ったものです。性能等については、技術審査を行っているため、仕様内容を満たしていることは確認できています。

・本学で積算した額と入札説明会に参加した業者からの参考見積書を徴取して安価な方を予定価格としていますが、本案件の積算内訳は複数項目あり、各項目毎に積算額と参考見積書を比較して予定価格を算出した結果、本案件については落札率が高くなりました。

・大学職員には守秘義務があるため、漏洩しないことが前提です。

予定価格作成等の重要な書類は、持ち回り決裁することや予定価格調書は封筒に糊付けし封印するなど、他部署の者が見ることがないようにリスク管理を行い、決裁終了後は開札時まで鍵のかかる保管場所で厳重に管理しています。

また、入札執行までの手続きや入札の手順についてのマニュアルを作成し、統一的な取扱いを実施しています。

・業者と接する機会はありませんということですか。

(4)高度低侵襲医療システム

(議題3と同案件)

・委員からの意見・質問等はなし。

その他

・委員会終了後、委員長から以下のとおり提案があった。

(1)本委員会の議事概要の作成について

・本委員会での審議内容について議事概要を作成し、徳島大学HPで公表する必要があります。事務局が作成した議事概要(案)を各委員が確認した後に公表することによろしいですか。

・委員長提案のとおり承認された。

(2)次回委員会での議題の選定方法について

・今回は初開催だったため議題選定にあたっては、事務局が調査したものの中から中立的な立場である監査室が選定したとの説明でしたが、次回開催からは事前に委員の方へ全件分(要約版)を提示し、選定する方法としたいが如何ですか。

・委員長提案のとおり承認された。

・業者と交渉しなければ情報やカタログが入手できないため、ある程度接することは仕方がないと考えています。